

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

残暑厳しい日々が続いておりますが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、オリンピックやサッカーワールドカップと並ぶ世界3大スポーツ大会の一つであるラグビーワールドカップが、豊田スタジアムを含む国内12会場で9月中旬よりいよいよ開幕致します。

その内、豊田スタジアムでは、日本 vs サモアやニュージーランド vs イタリアを含む好カード4試合が予定されていますが、豊田での開催を契機とし、本県のスポーツ振興はもとより、地域の更なる活性化が図られることが期待されており、これまでに開催気運を高める各種イベントやインフラ整備等に、県・市を挙げて積極的に取り組んでまいりました。

具体的には、愛知環状鉄道へのICカード導入や、国道153号豊田北バイパス（平戸大橋）&国道301号野見山工区拡幅整備、更には豊田則定線（高橋）の拡幅整備など、交通ネットワークの充実が図られました。また、市街地整備として豊田市駅前空間の整備が進むと共に、公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備など、多文化共生社会の基盤整備も大きく前進する事が出来ました。

更には、あいちトリエンナーレと連携した文化芸術活動のすそ野拡大や、ボランティアプログラム等のソフト事業が行われることによって、地域の活性化や街の魅力アップにも繋がるなど、ラグビーワールドカップ開催を契機とし、豊田市は大きく生まれ変わる事ができました。

しかし、まだまだワールドカップ開催に興味を示されない方が多いのが実情ですが、大会成功を通じて、我が街の国際的な知名度を大きく高め、更なるインバウンド層を取り込む絶好の機会でもありますので、皆さんで最後まで大会を盛り上げていきましょう。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 